記 者 発 表

がんばろう！東北

平成２５年度
岩手河川国道事務所の事業概要

平成２５年　５月１６日

国土交通省東北地方整備局
岩手河川国道事務所

<<発表記者会：岩手県政記者クラブ>>

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所
盛岡市上田四丁目２－２
TEL ０１９－６２４－３１３１（事務所代表）

〔河川関係〕

副所長（河川）　長内 伸夫（内線204）
工務第一課長　横山 孝臣（内線311）
TEL 019-624-3198（工務第一課直通）
工務第三課長　安部 剛（内線321）
TEL 019-624-3199（工務第三課直通）

〔道路関係〕

副所長（道路）　亀井 督悦（内線205）
工務第二課長　外崎 高広（内線411）
TEL 019-624-3195（工務第二課直通）
交通対策務課長　川村 信彦（内線471）
TEL 019-624-3291（交通対策課直通）

「復興・防災対策」、「成長による富の創出」及び「暮らしの安心・地域活性化」の３分野に重点化するとともに、岩手の産業振興に欠かせない交通基盤の整備、国民生活の安全・安心の確保に向けて、岩手河川国道事務所は事業を推進します。

１．予算総括

［単位：百万円］

区　　分		平成２４年度 当初予算	平成２５年度 当初予算	事業箇所等
河川関係	国土交通省計上分	6,332	6,978	・北上川上流
砂防関係	国土交通省計上分	679	1,208	・八幡平山系・栗駒山系
	(参考)復興庁計上分	528	263	
道路関係	国土交通省計上分	3,382	3,317	・国道４号・４６号・１０６号 ・直轄整備区間：東北横断自動車道釜石秋田線（遠野～宮守間） ・釜石花巻道路（遠野住田～遠野） ・宮古盛岡横断道路 （都南川目道路） （区界～簗川） （平津戸・岩井～松草）
	(参考)復興庁計上分	12,640	16,915	

注１）予算額は、本省記者発表の箇所表に記載している事業の合計額を示す。
注２）予算は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載。
注３）河川維持や道路維持に係る予算については、含まれていません。

２．主要概要

【河川事業】

○一関遊水地建設事業
○北上川中流部緊急治水対策事業（二子地区、廿木地区、紫波地区）
○北上川上流狭隘地区治水対策事業（一関・藤沢地区）
○盛岡地区かわまちづくり
○北上川上流自然再生事業

【砂防事業】

○八幡平山系直轄火山砂防事業
○栗駒山系直轄特定緊急砂防事業

【道路事業】

○東北横断自動車道釜石秋田線「遠野～宮守間」（直轄整備区間）
○国道１０６号都南川目道路、国道４６号盛岡西バイパスなどの改築事業
○一般国道４号・４６号の管理区間における交通安全対策事業、交通事故重点対策事業

平成２５年度　主要事業の概要

河 川 事 業

「継続事業の概要」

○一関遊水地建設事業（一関市、奥州市、西磐井郡平 泉 町）

一関遊水地建設事業では、北上川流域を洪水から守るための初期越流堤や水門の整備を実施します。また、磐井川改修のための用地取得を推進させるとともに、堤防の拡築を実施します。

○北上川中流部緊急治水対策事業（二子地区、廿木地区、紫波地区）（北上市、紫波町）

北上川中流部では、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水において住家を中心に甚大な浸水被害を受けたことから、早期に効果を発現する治水対策を実施します。

- 北上市二子地区では、堤防整備を行い、一連区間での完成を目指します。
- 紫波町廿木地区では、堤防整備と揚水機場整備を行い、一連区間での完成を目指します。
- 紫波町紫波地区では、用地補償等を実施します。

○北上川上流狭隘地区治水対策事業（一関・藤沢地区）（一関市）

宮城県境から砂鉄川合流点までの区間（約16km）の一関・藤沢地区において、治水対策として、輪中堤等の整備や用地補償等を実施します。

○北上川上流自然再生事業（北上地区）（北上市）

北上川と和賀川の合流点において、近年、礫河原が陸地化し、外来種等の樹木が繁茂し、著しく樹林化が進み、自然環境の多様性の阻害が懸念されています。このため、外来種の伐採、礫河原再生のための砂州撤去を実施します。

○盛岡地区かわまちづくり（盛岡市）

多くの市民や観光客に利用されている北上川、中津川において、安全な河川利用や適切な河川管理に資するため、まちづくりと連携し、景観に配慮した高水護岸の整備を実施します。

平成25年度　事業箇所図
（岩手河川国道事務所：河川）



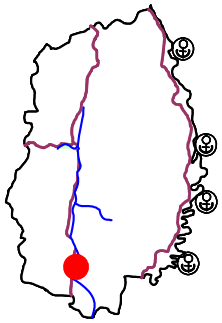
継続事業

事業名	一関遊水地建設事業(直轄) (岩手県一関市・奥州市・西磐井郡平泉町)

事業着手:昭和47年度	完成・供用の目標年度:平成30年代完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県

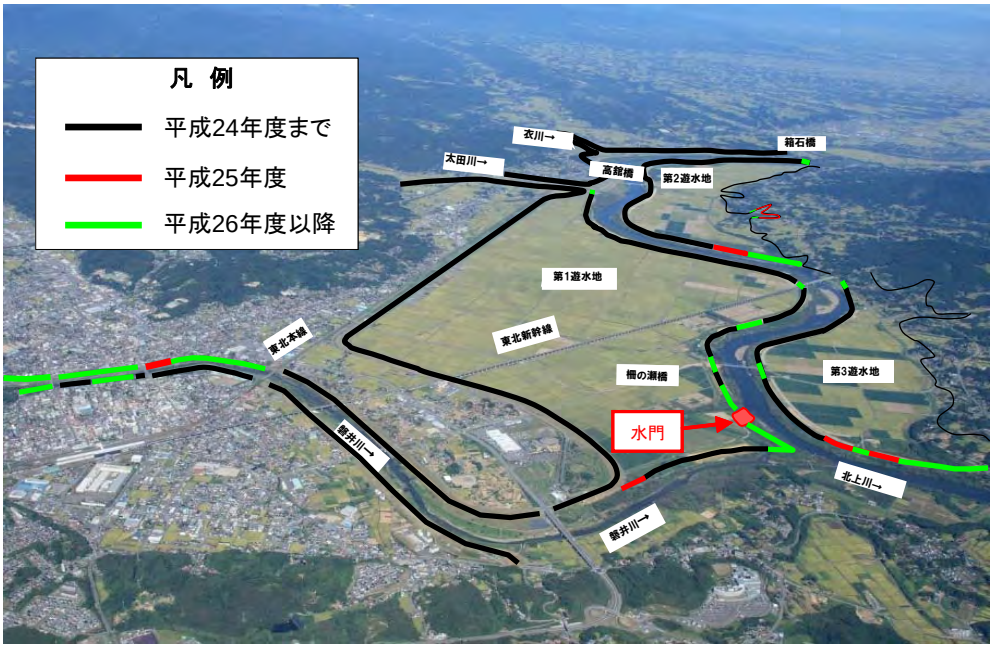


「事業の必要性」

北上川上流域において過去、幾度となく発生している洪水被害を解消するため、「北上川治水の根幹」である一関遊水地を整備し、北上川流域の洪水被害の軽減を図ります。

「事業の概要」

水門、初期越流堤、磐井川堤防の拡築等を実施します。



平成25年度事業費及び事業内容

○ 工事関係費:約4,148百万円
○ 初期越流堤や水門の整備を実施。
磐井川堤防改修のための用地取得及び堤防拡築を実施。

事 業 効 果

○ 初期越流堤の施工により、北上川流域の洪水被害の軽減を図ります。
○ 磐井川堤防の拡築により、堤防の断面・高さ不足を解消し、治水安全度を向上させます。

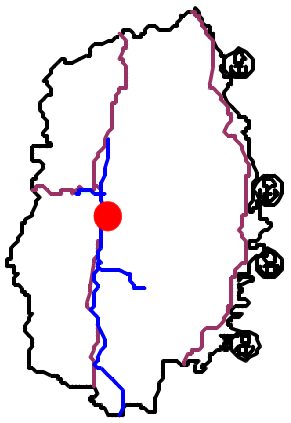
継続事業

事業名	北上川中流部緊急治水対策事業（甘木地区） （岩手県紫波町）

事業着手：平成２３年度	完成・供用の目標年度：平成２６年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



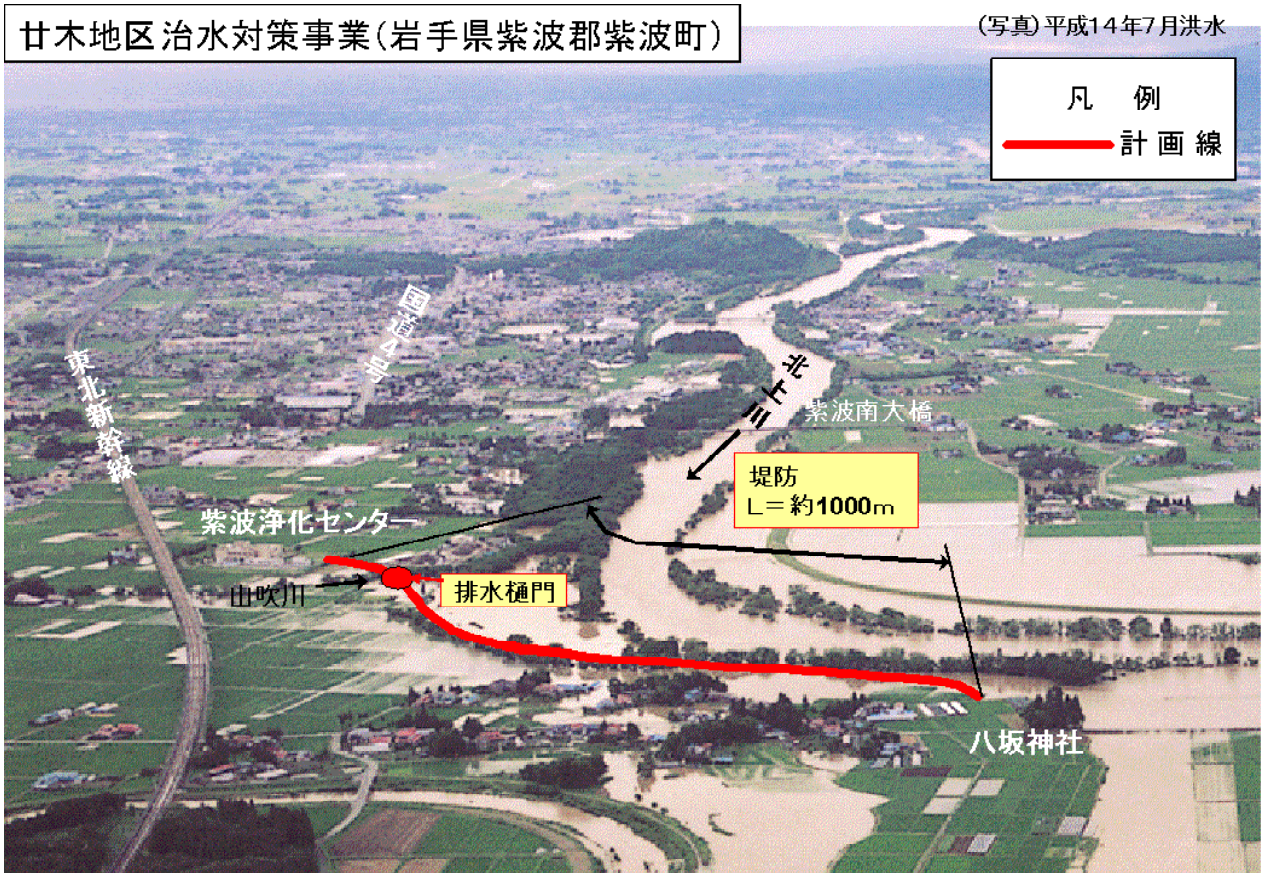
「事業の必要性」

紫波町甘木地区は、北上川上流右岸114km付近に位置し、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水により、僅か5年間で2度も甚大な浸水被害が発生しています。背後地には住家等の資産が集中していることから、早期の治水対策が必要となっています。

「事業の概要」

紫波町甘木地区における住家の浸水被害を早期に解消するため、連続堤だけに寄らない治水対策を行います。平成25年度は輪中堤の新設に着手します。

甘木地区治水対策事業（岩手県紫波郡紫波町）



平成25年度事業費及び事業内容

○工事関係費：約415百万円
○平成25年度は輪中堤と揚水機場に着手し、一連区間での完成を目指します。

事　業　効　果

○過去の主要洪水であるH14.7洪水及びH19.9洪水から住家の浸水被害を解消します。

砂 防 事 業

「完成施設の概要」

≪八幡平山系直轄火山砂防事業≫

○**クラカケ沢砂防堰堤**（滝沢村）　★

岩手山噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の本体工を引き続き整備し、**完成**を目指します。

≪栗駒山系直轄特定緊急砂防事業≫

○**市野々原２号砂防堰堤**（一関市）

平成20年6月14日発生「岩手・宮城内陸地震」において、震源地に近い一関市の西側で多数発生した地すべりや山腹崩壊により、土石流化する恐れのある流域内不安定土砂を補足し、土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤及び護岸を引き続き整備し、**完成**を目指します。

○**槻木平砂防堰堤**（一関市）

土石流化する恐れのある流域内不安定土砂を既設堰堤の機能強化（嵩上げ）により補足し、土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の本体工を引き続き整備し、**完成**を目指します。

「継続事業の概要」

≪八幡平山系直轄火山砂防事業≫

○**西根牧野沢砂防堰堤**（八幡平市）　★

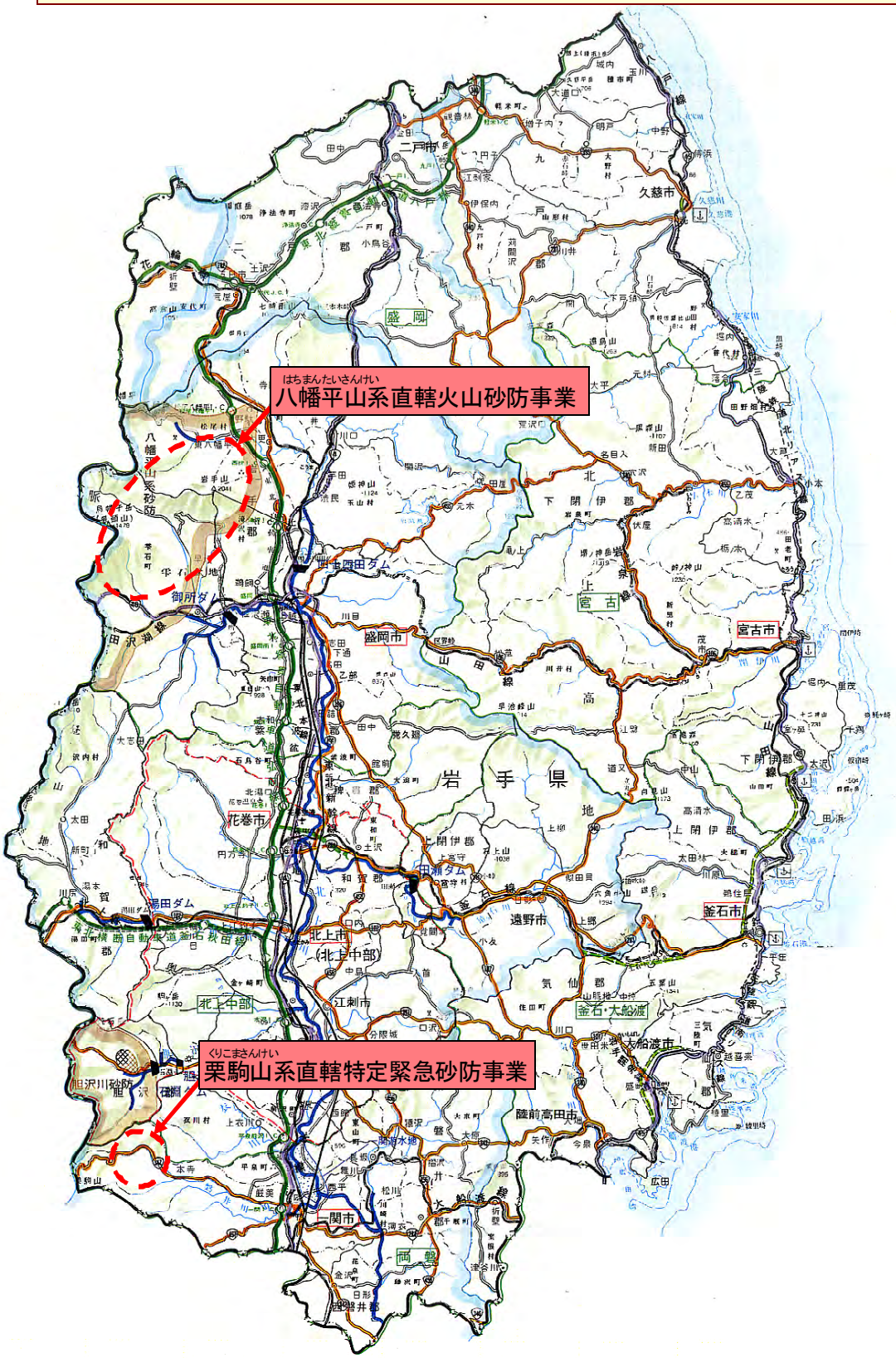
岩手山噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の整備促進を図ります。

○**シガクラ沢砂防堰堤**（雫石町）

秋田駒ヶ岳噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の整備促進を図ります。

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

平成25年度　事業箇所図
（岩手河川国道事務所：砂防）

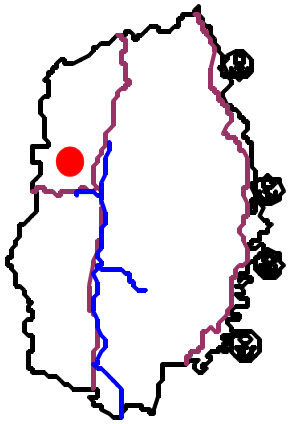


完成事業

事業名	八幡平山系直轄火山砂防事業　クラカケ沢砂防堰堤（岩手県滝沢村）
事業着手：平成２１年度	完成・供用の目標年度：平成２５年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県

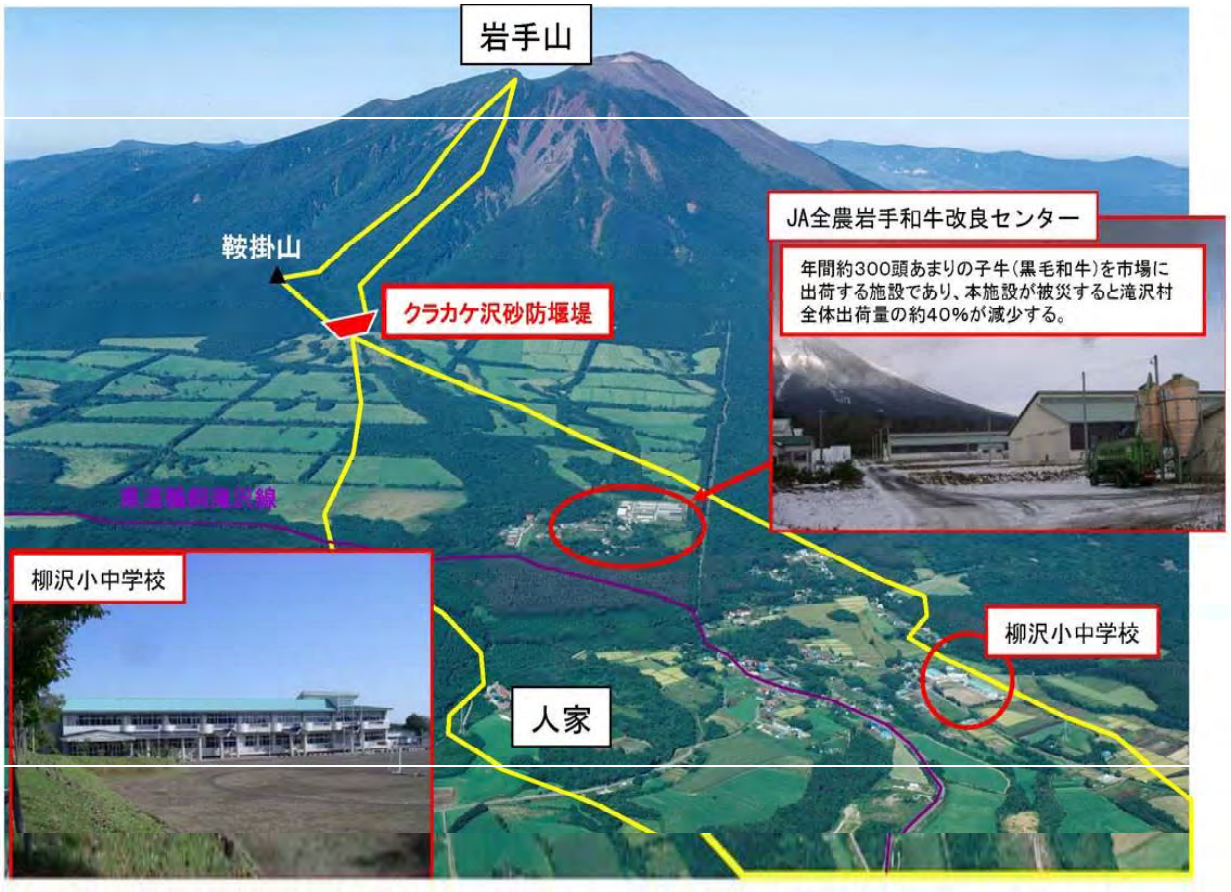


「事業の必要性」

クラカケ沢は、岩手山噴火後の降灰が降雨により土石流となり流れ下ることから、岩手山下流集落の生命と財産を土砂災害から守るため、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

クラカケ沢砂防堰堤
構造：鋼製堰堤
堰堤高・延長：H=14.0m L=88.2m



平成25年度事業費及び事業内容

○工事関係費：36百万円
○クラカケ沢砂防堰堤の工事進捗を図り、平成25年度の完成を目指します。

事　業　効　果

○土砂災害から、下流の人家及び小中学校、県道等を保全します。

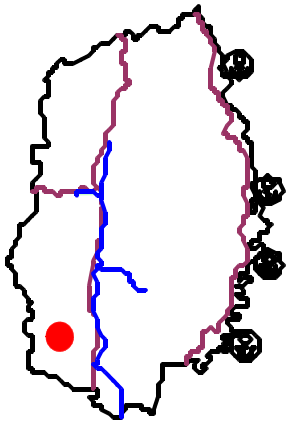
完成事業

事業名	栗駒山系直轄特定緊急砂防事業　市野々原2号砂防堰堤（岩手県一関市）

事業着手：平成２１年度	完成・供用の目標年度：平成２５年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

平成20年6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震（最大震度6強）」により、震源地に近い一関市の西側において、大規模な地すべりや山腹崩壊が多数発生しました。

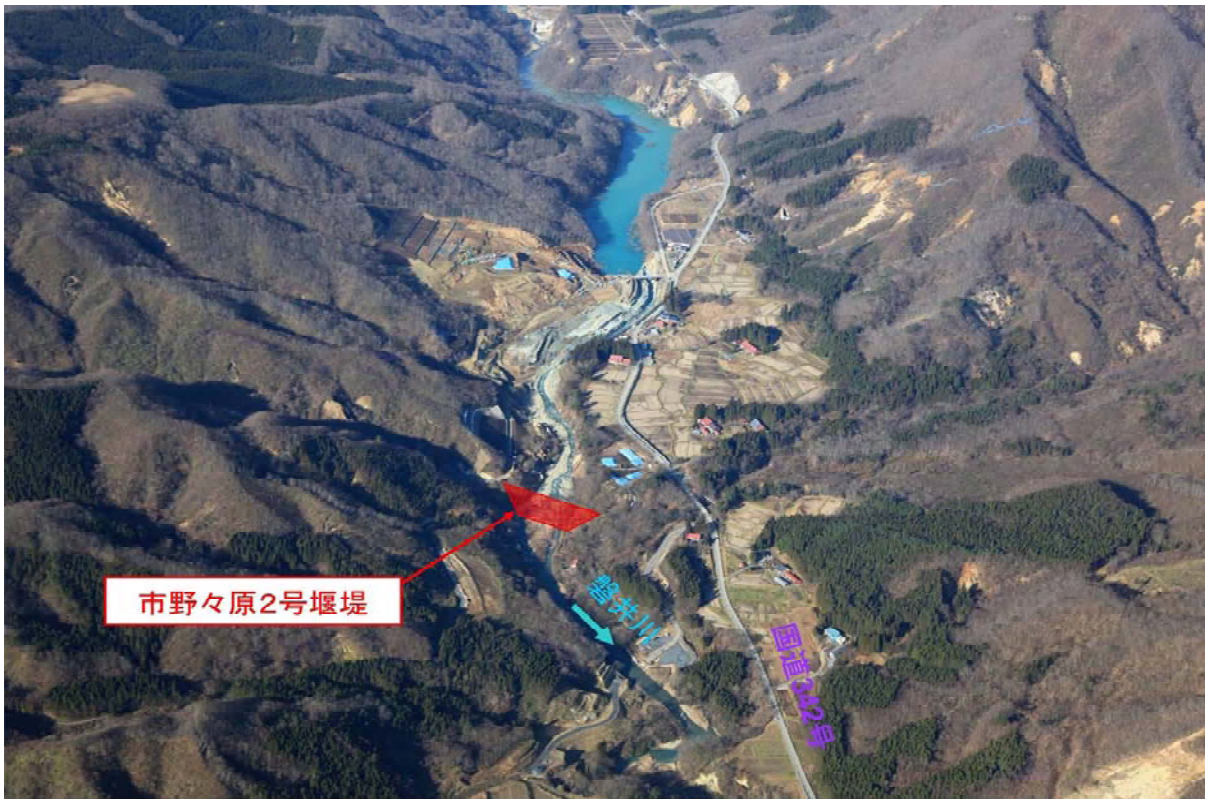
これらの不安定土砂が降雨等により土石流化するおそれがあるため、砂防堰堤の整備により流域内不安定土砂を補足し、下流の人家等を土砂災害から守るため、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

市野々原２号砂防堰堤

構造：コンクリート重力式

堰堤高・延長：H=14.5m L=89.0m



平成25年度事業費及び事業内容

○工事関係費：約185百万円

○市野々原2号砂防堰堤及び周辺護岸整備等の工事進捗を図り、平成25年度の完成を目指します。

事　業　効　果

○土石流化する恐れのある流域内不安定土砂を補足し、土砂災害から人家等を保全します。

平成２５年度　主要事業の概要

道 路 事 業

「開通事業の概要」

○国道４６号“盛岡西バイパス”改築事業（盛岡市）

交通混雑の緩和と、交通安全の確保等を目的とした、延長７，８００ｍのバイパス事業で、平成２２年度までにバイパス終点から６，６００ｍについて部分暫定開通を図っており、残る１，２００ｍについて引き続き事業を実施します。

平成２５年度は、１，２００ｍの供用により、全線暫定開通を図ります。

○国道４号”岩手４号交差点改良等（津志田交差点改良）”
交通安全事業（盛岡市）

国道４号津志田地区の交通事故の削減、交通の円滑化を目的とした交差点改良事業と合わせ、自転車・歩行者の安全で快適な通行空間を確保するため、電線類の地中化及び歩道整備を引き続き実施し、平成２５年度の完成を図ります。

「継続事業の概要」

○東北横断自動車道釜石秋田線“遠野～宮守（直轄整備区間）”改築事業★
（遠野市）

東北横断自動車道釜石秋田線（総延長約２１１ｋｍ）の遠野～宮守間（延長９ｋｍ）について、引き続き事業を実施します。

○国道２８３号　釜石花巻道路“遠野住田～遠野”改築事業　★
（遠野市）

釜石花巻道路（遠野住田～遠野）、釜石市と花巻市を結ぶ道路であり、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を促進することにより、被災地の早期復興を支援する道路です。

平成２５年度は、用地買収・改良工事を促進します。

○国道106号“都南川目道路、区界～簗川、平津戸・岩井～松草”

改築事業　★
（盛岡市、宮古市）

都南川目道路、区界～簗川、平津戸・岩井～松草は宮古盛岡横断道路の一部を構成しており、宮古市と盛岡市を結ぶ国道106号の線形不良による交通隘路区間の解消を図るとともに、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を促進することにより、被災地の早期復興を支援する道路です。

平成２５年度は、道路設計・用地買収・トンネル掘削・改良工事を促進します。

○国道４号“盛岡北道路”改築事業（盛岡市、岩手郡滝沢村）

巣子地区の国道４号の交通混雑緩和や交通安全の確保等を目的とした、延長３，６００ｍの拡幅事業で、引き続き事業を実施します。

○国道４号　”岩手４号交差点改良等（三ケ尻交差点改良）”

交通安全事業（胆沢郡金ケ崎町）

国道４号金ケ崎町三ケ尻地区の交通事故の削減、交通の円滑化を目的とした右左折車線等を整備する事業で、平成２５年度は、調査設計、用地補償、改良・舗装工事を実施します。

○国道４号　”岩手４号電線共同溝（上堂地区電線共同溝）”

（盛岡市）

国道４号上堂地区において安全で快適な歩行空間の確保、良好な都市景観形成に向けたまちづくりを支援する目的として、電線共同溝を整備する事業で、平成２５年度は、支障移転補償及び電線共同溝の本体工事を実施します。

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

「新規事業の概要」

○国道４号　”岩手４号交差点改良等（折居交差点改良）”

交通安全事業
（奥州市前沢区）

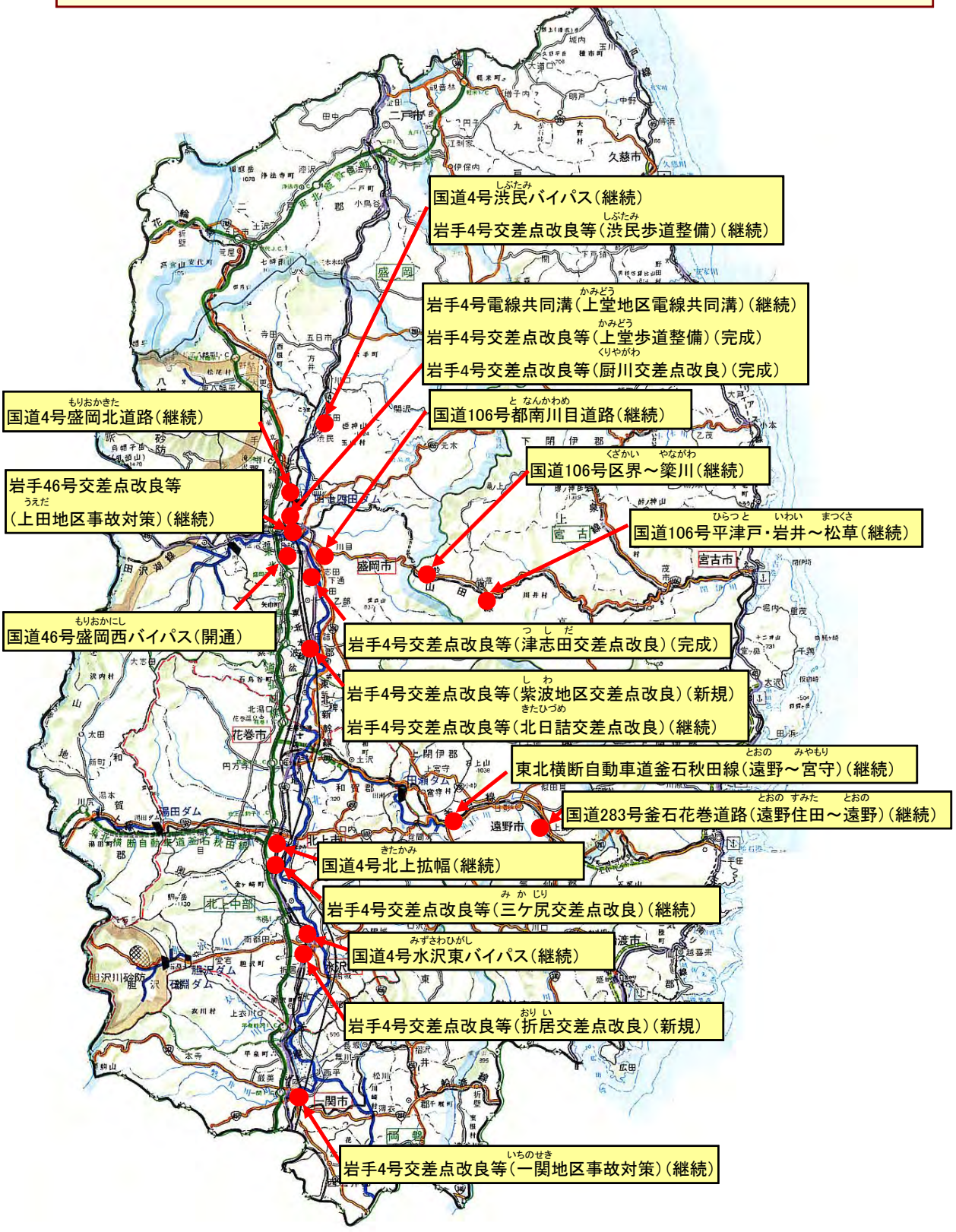
国道４号前沢区古城地区の交通事故の削減、交通の円滑化を目的とした右折車線等を整備する事業で、平成２５年度は、調査設計を実施します。

○国道４号　”岩手４号交差点改良等（紫波地区交差点改良）”

交通安全事業
（紫波郡紫波町）

国道４号紫波地区（桜町交差点、城山入口交差点）の交通事故の削減、交通の円滑化を目的とした右折車線等を整備する事業で、平成２５年度は、調査設計を実施します。

平成25年度　事業箇所図
（岩手河川国道事務所：道路）

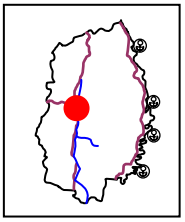


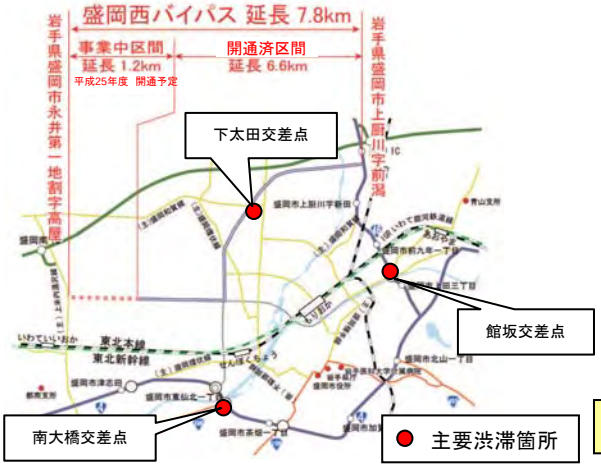
国道46号　盛岡西（もりおかにし）バイパス

H25：276百万円

開通	岩手県盛岡（もりおか）市	道路	直轄

国道46号　盛岡西（もりおかにし）バイパスは、盛岡市内の国道4号及び国道46号等の交通混雑緩和、沿線都市開発の支援等を目的とした道路です。







▲主要渋滞箇所の状況（館坂交差点付近）

盛岡西バイパスの整備により、主要渋滞箇所の緩和を図ります。

【平成25年度の事業内容】
全線開通に向けて、道路付属物工等を実施します。

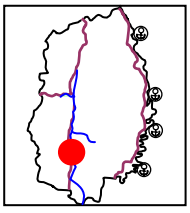
国道4号　岩手4号交差点改良等（三ケ尻（みかじり）交差点改良）

H25：501百万円

完成予定：H27

継続	岩手県胆沢郡（いさわぐん）金ケ崎町（かねがさきちょう）	道路	直轄

岩手中部金ケ崎工業団地の入口となる交差点において、国道から町道への出入り交通量が多く、追突や玉突き等の事故が発生していることから、右左折車線を整備し、交通事故の削減および交通の円滑化を図ります。
平成25年度は、調査設計、用地補償、改良・舗装工事を実施します。





▲当該交差点付近の混雑状況

